

## 総 務 費

総務費の支出済額は、6,948,310,293円で、対前年度比1,297,450,671円、22.96パーセントの増で、歳出総額に対する構成比は15.95パーセントです。

## 2款 1項 1目 一般管理費

### 市政功労者表彰事業

(秘書課)

決算事項別明細書 71 ページ

予算現額	755,000 円		決算額	617,982 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	137,018 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額			617,982 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源	617,982 円	

#### <目的>

市の振興発展に功労のあった者を表彰し、市の自治の振興促進を図ることを目的とします。

#### <内容>

狭山市表彰規則及び同取扱要領に基づいて、各所属より推薦された市政に功労のある個人及び団体を、表彰審査委員会を経て、被表彰者として決定します。

表彰は、隔年度（1月1日が西暦の奇数年に当たる年度をいう。）1回市長が定める日に、表彰状（感謝状）及び記念品の贈呈をもって行い、その後、被表彰者の氏名及び功労について、広報さやま及び市の公式ホームページにおいて公表します。

また、平成30年5月24日に狭山市特別顕彰を新たに設置し、狭山市特別顕彰要綱に基づき、市民等又は本市にゆかりのある個人・団体で、学術、芸術、スポーツその他の分野で、特に優れた功績を収め、市民に感銘を与えた者を、狭山市特別顕彰審査委員会を経て、被表彰者として決定します。

表彰は、市長が必要と認めるときに、賞状の授与をもって行い、その後被表彰者の氏名及び功績について、広報さやま及び市の公式ホームページにおいて公表します。

#### <実績・成果等>

##### 1 平成30年度狭山市市政功労者表彰式

###### (1) 日時

平成30年11月4日（日）午前10時

###### (2) 会場

狭山市役所 6階会議室

###### (3) 受賞者数

区 分	受 賞 者 数
一 般 功 労 表 彰	74 人
感 謝 状	6 人（1 人 5 団体）
合 計	80 人

##### 2 狭山市特別顕彰

受賞者数

1 人

## 2 款 1 項 1 目 一般管理費

### 人事給与管理事業

(職員課)

決算事項別明細書 71 ページ

予算現額	16,225,000 円		決算額	15,966,083 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	258,917 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額	15,054,638 円		決算額の 財源内訳	地 方 債	
	増減額	911,445 円			そ の 他	
	増減率	6.05%	一 般 財 源		15,966,083 円	

#### <目的>

人事給与等システム運用により、効率的な人事給与管理を目指します。

#### <内容>

職員情報を一元管理したシステムの運用を行い、人事異動、給与支払事務の効率化を図り、機能的な職員の人事給与管理を行います。

#### <実績・成果等>

- 1 人事給与システム、庶務事務システム等の運用  
業務システムの運用を着実にを行い、事務の効率化に努めました。
- 2 業務の効率化  
職員の負担軽減や業務効率の観点から、一般職員に係る年末調整業務を外部委託しました。
- 3 事務用椅子の購入  
職場環境の改善を図るため、事務用椅子を購入しました。
- 4 給与等の改定実施  
国及び埼玉県的一般職の給与改定の状況に鑑み、国や埼玉県に準じて一般職の給料表の改定を実施するとともに、諸手当についても、勤勉手当の支給割合の改定を実施しました。
  - (1) 給料表について、若年層に重点を置いて改定を行い、行政職給料表（一）で0.2パーセント引上げ
  - (2) 勤勉手当について、支給割合を0.05月分引上げ、期末勤勉手当の年間支給割合を4.4月分から4.45月分に改定

## 2 款 1 項 1 目 一般管理費

### 職員採用事業

(職員課)

決算事項別明細書 73 ページ

予算現額	4,060,000 円		決算額	3,777,105 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	282,895 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	3,021,926 円		地 方 債	
	増減額	755,179 円		そ の 他	
	増減率	24.99%	一 般 財 源	3,777,105 円	

#### <目的>

機能的な組織運営の推進のために最適な人事制度を確立します。

#### <内容>

職員資格採用試験・昇任選考の実施及びこれらに附帯する事務事業です。

#### <実績・成果等>

##### 1 職員採用資格試験実施状況 (平成 31 年 4 月 1 日採用)

職 種	申 込 者	受 験 者	合 格 者	倍 率
一 般 事 務	207 人	145 人	41 人	3.5 倍
一 般 事 務 (身体障害者対象)	0	0	0	—
土 木 技 術	6	5	1	5.0
建 築 技 術	6	5	3	1.7
保 育 士	71	51	22	2.3
保 健 師	17	12	4	3.0
精神保健福祉士	10	10	2	5.0
合 計	317	228	73	—

##### 2 課長相当職昇任候補者選考に係る能力測定の実施

客観的かつ広範な職務遂行能力の実証に基づく公平で公正な昇任選考を行うとともに、若年層を含めた意欲、能力のある職員の積極的な登用を図ることによる組織活性化のため、対象者 88 人に対して能力測定を実施しました。

## 2款 1項 1目 一般管理費

### 職員厚生事業

(職員課)

決算事項別明細書 73 ページ

予算現額	16,424,000 円		決算額	13,514,435 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	2,909,565 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	13,548,603 円		地方債	
	増減額	△34,168 円		その他	
	増減率	△0.25%	一般財源	13,514,435 円	

#### <目的>

職員の保健、元気回復その他厚生に関する事業を計画的に実施するとともに、労働安全衛生の推進、公務災害補償、共済制度、健康保険、年金、退職手当等の事務を適切に実施し、職員の公務執行能力の維持を図ります。

#### <内容>

公務災害補償及び災害見舞金、労働安全衛生（衛生委員会及び産業医）、職員健康管理（定期健康診断、大腸がん検診及び胃検診）、ストレスチェック、退職手当、職員表彰（勤続表彰及び退職表彰）、生命保険及び財形貯蓄の控除、埼玉縣市町村職員共済組合との連絡調整、臨時職員等の社会保険及び労働保険の加入等に関する事務を実施します。

#### <実績・成果等>

- 公務災害補償及び災害見舞金  
該当ありませんでした。
- 労働安全衛生  
本庁等産業医による職員の健康相談等を実施しました。  
労働安全衛生法第66条の10の規定に基づく職員のストレスチェックを実施しました。
- 職員健康管理  
職員の健康保持のため、次のとおり定期健康診断等を実施しました。

検診名	定期健康診断		ストレス チェック	胃検診	大腸がん 検診	人間ドック等
	集団検診	個別検診				
受診者数	294 人	242 人	1,070 人	10 人	63 人	534 人

メンタルヘルス 相談室	実施回数	人数
	24 回	84 人

- 健康管理助成金の交付  
職員の健康の維持増進を図るため、人間ドックや脳ドック等を受診した職員に対して助成しました。

## 2款 1項 1目 一般管理費

### 法務・例規管理事業

(総務課)

決算事項別明細書 75 ページ

予算現額	5,622,000 円		決算額	4,897,785 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	724,215 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			5,174,239 円	地 方 債	
	増減額			△276,454 円	そ の 他	
	増減率	△5.34%	一 般 財 源	4,897,785 円		

#### <目的>

例規の制定改廃に係る事務の適正化及び効率化を図り、地方分権の推進に適応した行政運営の基礎を支えます。

#### <内容>

- 1 条例、規則等の審査及び制定改廃並びに例規システムに関するを行います。
- 2 顧問弁護士による行政法律相談に関するを行います。
- 3 行政不服審査法に係る制度運営に関するを行います。
- 4 法令等の解釈指導に関するを行います。
- 5 訴訟等に関するを行います。

#### <実績・成果等>

##### 1 例規の制定改廃状況

区 分	新規制定	全部改正	一部改正	廃 止	合 計
条 例	2 件	0 件	24 件	1 件	27 件
規 則	1	0	34	0	35
訓 令	1	0	3	0	4
告示(要綱等)	2	0	11	1	14
合 計	6	0	72	2	80

(注) 規則、訓令及び告示は、市長部局における制定改廃状況です。

##### 2 新規に制定した条例

- ・狭山市協働によるまちづくり条例
- ・狭山市職員の配偶者同行休業に関する条例

##### 3 市長に対する審査請求状況

前 年 度 繰越件数	本年度新規 申立件数	審 査 会 諮問件数	処 理 状 況				取下げ 件 数	翌 年 度 繰越件数
			認容	棄却	却下	その他		
0件	3件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件

## 2款 1項 1目 一般管理費

### 契約事業

(契約検査課)

決算事項別明細書 75 ページ

予算現額	8,507,000 円		決算額	7,917,533 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	589,467 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	3,083,099 円		地方債	
	増減額	4,834,434 円		その他	
	増減率	156.80%	一般財源	7,917,533 円	

#### <目的>

各課の入札及び契約に関する事務を統合して執行し、その透明性・公平性・競争性を高めることにより、予算の効率的な執行を図ります。

#### <内容>

主に以下の業務を行います。

- 1 工事請負及び業務委託に係る入札及び契約に関する業務
- 2 物品の購入等に係る入札及び契約に関する業務
- 3 備品の管理に関する業務
- 4 入札参加資格登録に関する業務

#### <実績・成果等>

本年度の契約状況は、次の契約実績一覧のとおりです。

#### 1 契約実績一覧（建設工事・単体）

業種	件数	契約金額 (円)	左 の 内 訳								
			市内業者				市外業者				
			件数	割合(%)	契約金額(円)	割合(%)	件数	割合(%)	契約金額(円)	割合(%)	
建設 工事	土木工事	4	103,150,800	4	100.00	103,150,800	100.00				
	建築工事	9	772,486,200	9	100.00	772,486,200	100.00				
	電気工事	3	192,888,000	3	100.00	192,888,000	100.00				
	管工事	9	335,754,720	9	100.00	335,754,720	100.00				
	とび土工工事	6	261,688,054	6	100.00	261,688,054	100.00				
	その他の工事	27	384,686,280	14	51.85	186,035,400	48.36	13	48.15	198,650,880	51.64
合計	58	2,050,654,054	45	77.59	1,852,003,174	90.31	13	22.41	198,650,880	9.69	

#### 2 契約実績一覧（建設工事・共同企業体）

※本年度の契約実績はありません。

### 3 契約実績一覧（業務委託）

業 種	件数	契 約 金 額 (円)	左 の 内 訳								
			市 内 業 者				市 外 業 者				
			件数	割合(%)	契約金額(円)	割合(%)	件数	割合(%)	契約金額(円)	割合(%)	
業 務 委 託	測 量	8	73,647,360	4	50.00	22,380,840	30.39	4	50.00	51,266,520	69.61
	建 築 設 計	23	98,447,400	19	82.61	37,254,600	37.84	4	17.39	61,192,800	62.16
	土 木 設 計	7	24,484,680	5	71.43	15,334,920	62.63	2	28.57	9,149,760	37.37
	補 償	8	19,474,560	6	75.00	12,438,360	63.87	2	25.00	7,036,200	36.13
	造 園 委 託	31	109,088,640	31	100.00	109,088,640	100.00				
	その他の委託	47	217,716,788	15	31.91	25,036,560	11.50	32	68.09	192,680,228	88.50
合 計	124	542,859,428	80	64.52	221,533,920	40.81	44	35.48	321,325,508	59.19	

### 4 契約実績一覧（物品）

種 別	件数	契 約 金 額 (円)	左 の 内 訳								
			市 内 業 者				市 外 業 者				
			件数	割合(%)	契約金額(円)	割合(%)	件数	割合(%)	契約金額(円)	割合(%)	
物 品	消 耗 品	150	26,197,784	95	63.33	21,957,535	83.81	55	36.67	4,240,249	16.19
	備 品	76	12,616,671	57	75.00	9,288,284	73.62	19	25.00	3,328,387	26.38
	重要物品	6	46,837,980	3	50.00	8,715,600	18.61	3	50.00	38,122,380	81.39
	印 刷	116	16,762,864	97	83.62	9,050,260	53.99	19	16.38	7,712,604	46.01
合 計	348	102,415,299	252	72.41	49,011,679	47.86	96	27.59	53,403,620	52.14	



## 2款 1項 1目 一般管理費

### 工事検査事業

(契約検査課)

決算事項別明細書 75 ページ

予算現額	345,000 円		決算額	251,043 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	93,957 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			278,794 円	地 方 債	
	増減額			△27,751 円	そ の 他	
	増減率	△9.95%	一 般 財 源	251,043 円		

#### <目的>

地方自治法第 234 条の 2、同法施行令第 167 条の 15 及び狭山市契約規則第 45 条に基づき、検査によって工事請負契約の給付の完了（工事の既済部分の確認を含む）の確認をします。

#### <内容>

当市が執行する契約金額 1,300,000 円を超える工事（企業会計含む）に係る給付の完了の確認について、関係書類に基づき、完成・既済部分・中間検査を実施します。

#### <実績・成果等>

契約検査課で執行した契約金額1,300,000円を超える完成検査の総額は、3,388,972,774円、件数は126件でした。その内訳は、次のとおりです。なお、受注者は45社（市内受注者30社、市外受注者15社、共同企業体0JV）でした。

#### 工事検査総括表（工種別分類）

	検 査 件 数				完成検査受注者別延べ件数		
	完成	既済部分	中間	計	市内	市外	JV
土 木 工 事	73	0	7	80	66	7	0
建 築 工 事	13	2	22	37	13	0	0
建 築 設 備 工 事	10	0	6	16	7	3	0
その他の設備工事	12	0	3	15	4	8	0
水 道 工 事	18	0	0	18	18	0	0
合 計	126	2	38	166	108	18	0

#### 部別総括表（完成検査126件内訳）

	本年度該当金額	請 負 金 額	検査 件数	完成検査受注者別延べ件数		
				市内	市外	JV
市 民 部	19,595,254 円	19,595,254 円	5	2	3	0
環 境 経 済 部	475,423,920	1,275,802,920	5	2	3	0
長 寿 健 康 部	6,771,600	6,771,600	1	1	0	0
都 市 建 設 部	1,045,841,760	1,045,841,760	46	38	8	0
生 涯 学 習 部	4,860,000	4,860,000	1	1	0	0
上 下 水 道 部	1,036,101,240	1,036,101,240	68	64	4	0
合 計	2,588,593,774	3,388,972,774	126	108	18	0

## 2款 1項 1目 一般管理費

### 情報公開推進事業

(総務課)

決算事項別明細書 77ページ

予算現額	2,455,000円		決算額	2,152,974円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	302,026円			県支出金	
前年度 比較	決算額	2,131,096円		地方債	
	増減額	21,878円		その他	
	増減率	1.03%	一般財源	2,152,974円	

#### <目的>

市民の知る権利を尊重し、情報の公開を総合的に推進することにより、市民に対する説明責任を果たしていくとともに、市政への市民参画を促進し、市政に対する市民の理解と信頼を深めることにより、開かれた市政の一層の推進を図ります。

#### <内容>

情報公開制度の実施、審議会情報の公開、各種行政資料を配架している行政資料室の管理運営等を行います。

#### <実績・成果等>

##### 1 情報公開コーナーの利用者状況

区分	市民	職員	合計
延べ人数	8,255人	432人	8,687人
日平均	34	2	36

##### 2 情報公開コーナーにおける有償刊行物等の取扱状況

区分	有償刊行物等				コピーサービス等
	都市計画等 図	狭山市史・ 博物館図録等	その他	計	
取扱数量(冊・枚)	318	24	83	425	21,940
取扱金額(円)	132,600	82,000	41,800	256,400	219,400

##### 3 情報公開制度の実施状況 (注) 申出…公文書の請求権者以外から開示の申出があった場合

区分	受付件数	処理別内訳				実施機関別内訳	
		開示	部分開示	不開示	取下げ	市長	その他機関
請求	147件	40件	69件	44件	4件	127件	20件
申出	35	15	15	1	4	30	5
計	182	55	84	45	8	157	25

(注) 1件の申請に対し、複数決定しているものがあるため受付件数と内訳件数は一致しない

##### 4 個人情報保護制度の実施状況

区分	受付件数	処理別内訳				実施機関別内訳	
		開示	部分開示	不開示	取下げ	市長	その他機関
請求	12件	5件	5件	2件	0件	12件	0件

## 2 款 1 項 1 目 一般管理費

### 職員研修事業

(職員課)

決算事項別明細書 77 ページ

予算現額	4,620,000 円		決算額	3,595,353 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,024,647 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			3,673,385 円	地 方 債	
	増減額			△78,032 円	そ の 他	
	増減率	△2.12%	一 般 財 源	3,595,353 円		

#### <目的>

狭山市人材育成基本方針に基づき、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応し、刻々と変化する社会情勢に対応できる職員を育成します。

#### <内容>

基本研修（階層別研修）、特別研修、派遣研修及び自主研修を計画的かつ効果的に実施します。

#### <実績・成果等>

研修区分	研修数	修了者数	内 容
基本研修 (階層別研修)	15 回	448 人	予算、文書事務・情報公開制度、自己啓発、公務員倫理、政策形成、行政法、人権、政策法務、リーダーシップ、契約事務 ほか
特別研修	27	1,152	人事評価、福祉施設における実務、男女共同参画、普通救命、ハラスメント、政策形成 ほか
派遣研修	46	83	国土交通大学校（道路管理など） 全国建設研修センター（都市再開発・下水道など） 市町村中央研修所（議会事務など） 彩の国さいたま人づくり広域連合（契約事務など） ダイアプラン連携（チームビルディングなど） 埼玉県総合技術センター（施工管理など） 先進都市事例研究派遣（公園里親制度など） 民間企業派遣（接客業務） 全国市町村国際文化研修所（組織マネジメントなど） 市議会行政視察同行研修（地域コミュニティなど）ほか
自主研修	13	257	通信教育講座 福島第一原子力発電所の視察 夜間講座（茶道教室、女性職員応援研修など）
合 計	101	1,940	

## 2 款 1 項 2 目 広報広聴費

### 広報さやま発行事業

(広報課)

決算事項別明細書 77 ページ

予算現額	23,608,000 円		決算額	22,726,241 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	107,723 円
不 用 額	881,759 円			県 支 出 金	53,858 円
前 年 度 比 較	決算額			21,320,886 円	地 方 債
	増減額	1,405,355 円	そ の 他	1,725,000 円	
	増減率	6.59%	一 般 財 源	20,839,660 円	

#### <目的>

市政や地域に関する情報を市民に正確に伝えることにより、市政への理解を深め、コミュニケーションを一層充実させます。

#### <内容>

毎月 10 日（年 12 回）に発行しています。

紙面は 24 ページを基本とし、発行部数は毎月 60,000 部です。

世帯への配布は原則として自治会を通して行い、各自治会への配送は業者に委託しています。

広報紙のほか、点字版広報（視覚障害者 4 人、中央図書館や社会福祉協議会などにも配付）や声の広報（視覚障害者 16 世帯 17 人に配付）も作成しています。

#### <実績・成果等>

定期刊行物

##### 1 広報さやま

紙面は、24 ページを原則とし、毎月 10 日（休日の場合は前日に繰り上げ）に発行しました。年間発行部数は 720,000 部です。内容は市民に役立つ情報で、かつ読みやすく、親しまれることを目的としました。特にトップ記事には、市民生活に欠くことのできない制度や行政施策の解説、市民活動などを特集として掲載しました。

##### 2 点字版広報

毎月の広報さやまから記事を抜粋して作成し、その都度、視覚障害者 4 人に配付しました。また、中央図書館や社会福祉協議会などにも配付しました。

##### 3 声の広報

毎月の広報さやまを狭山朗読グループの協力により CD（デイジー）に吹き込み、その都度、17 人の視覚障害者に配付しました。

## 2 款 1 項 2 目 広報広聴費

### シティプロモーション推進事業

(広報課)

決算事項別明細書 77 ページ

予算現額	6,895,000 円		決算額	6,749,397 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	145,603 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	6,417,570 円		地 方 債	
	増減額	331,827 円		そ の 他	2,660,000 円
	増減率	5.17%	一 般 財 源	4,089,397 円	

#### <目的>

市の魅力を市内外に情報発信することで、市のイメージアップと市民の郷土愛の醸成を図ります。また、公式ホームページなどの情報媒体を活用して、24時間365日、市の情報を得られるようにし、市民生活の利便の向上を図るとともに、災害時の有力な情報手段となるよう利用の日常化を促します。

#### <内容>

市の魅力や行政情報を、公式ホームページやモバイルサイト、SNS、パブリシティ活動などを通じて、市内外に効果的に発信します。また、ふるさと年賀はがきの作成販売と届け出挙式などを実施し、市民の郷土愛の醸成を図ります。

#### <実績・成果等>

##### 1 公式ホームページ

公式ホームページを通じて、市の動きや市民向け情報を提供するため、内容の一層の充実と毎日の更新などにより、新鮮な情報の発信に努めました。

本年度公式ホームページ訪問者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	207,930	208,610	212,527	229,693	238,087	196,563	224,138	193,440	179,867	192,323	171,769	193,728
1日平均	6,931	6,729	7,084	7,409	7,680	6,552	7,230	6,448	5,802	6,204	6,135	6,249

##### 2 公式モバイルサイト

公式ホームページとの情報格差が生じないように、配信情報の質・量ともに一層充実させるとともに、徹底した情報管理とメール配信などとの連動により、多くのアクセスを記録しました。

本年度モバイルサイトページビュー数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	277,384	293,016	245,383	245,279	294,779	422,562	258,387	293,373	233,131	309,368	264,550	460,861
1日平均	9,246	9,452	8,179	7,912	9,509	14,085	8,335	9,779	7,520	9,980	9,448	14,886

##### 3 シティプロモーション事業

市内在住の童絵作家・池原昭治氏デザインのふるさと年賀はがきを作成し、3万枚を販売しました。また、市内の大学、企業と連携し、11月22日に届け出挙式を実施しました。

## 2 款 1 項 2 目 広報広聴費

### 広聴活動事業

(広報課)

決算事項別明細書 79 ページ

予算現額	20,000 円		決算額	10,991 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	9,009 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			5,007 円	地 方 債	
	増減額			5,984 円	そ の 他	
	増減率	119.51%	一 般 財 源	10,991 円		

#### <目的>

市政に関する要望、意見等を適切かつ迅速に処理し、市政に対する理解と信頼を高めるとともに、市民の意向を市政運営の参考にします。

#### <内容>

公式ホームページや専用封筒などにより、市政に関する具体的で建設的な提案や意見をいただき、市政への参考とするために私の提案制度を実施します。

#### <実績・成果等>

私の提案等

市内 46 公共施設に「提案用紙」を置くとともに、公式ホームページの専用フォームからも受け付けました。

受け付けた意見・要望等は、関係各課と調整を行い、迅速に対応しました。

総数 136 件（うち、団体からの要望等は 25 件）

## 2 款 1 項 3 目 財政管理費

### ふるさと納税事業

(財政課)

決算事項別明細書 79 ページ

予算現額	9,981,000 円		決算額	5,949,889 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	4,031,111 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			5,161,827 円	地 方 債	
	増減額			788,062 円	そ の 他	
	増減率	15.27%	一 般 財 源	5,949,889 円		

#### <目的>

ふるさと納税制度において、魅力ある返礼品等を導入することによって寄附の動機づけを促進し、より一層の財源確保を図ります。また、この返礼品等によって、他市にはない狭山市のオリジナリティーの発信、地元産業の育成・振興、シティプロモーションの充実を図ります。

#### <内容>

個人からの寄附に対して、魅力ある返礼品等を送付しています。

返礼品提供事業者との調整及び寄附の申込み受付から返礼品送付までの一連の業務については、代行業者への委託により運用しています。

#### <実績・成果等>

##### 1 ふるさと納税（個人からの寄附金）の用途別受入状況一覧

寄附金の用途		件 数	金 額
1	一般寄附	260 件	8,022,000 円
2	公共施設の整備等のため	20	460,000
3	教育施設の整備等のため	51	1,315,000
4	社会福祉のため	12	590,000
5	就学応援事業のため	18	560,000
6	高齢者福祉のため	30	1,923,000
7	障害者福祉のため	21	600,000
8	児童福祉のため	48	1,230,000
9	都市基盤整備のため	12	350,000
10	緑地の取得及び保全事業のため	18	560,000
11	環境の保全及び創造事業のため	15	272,000
合 計		505	15,882,000

##### 2 返礼品申し込みの状況

返礼品数は、平成 30 年度 4 月 1 日時点で 93 種類でした。申し込みが多かった主な返礼品は、以下のとおりです。

返礼品名	申込件数
人間航空祭観覧席(市役所高層棟及び低層棟屋上)	200 件
Raspberry Pi 学習キット	56
狭山市茶業協会 狭山茶詰合せ	48
スペシャルミルクチョコレート	47
ローゼンハイム ハム、ソーセージ等 詰合せ	43

## 2 款 1 項 5 目 財産管理費

### 財産管理事業

(財産管理課)

決算事項別明細書 83 ページ

予算現額	200,346,000 円		決算額	193,866,100 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	34,560 円	
不用額	6,479,900 円			県支出金	34,560 円	
前年度 比較	決算額			203,304,682 円	地方債	
	増減額			△9,438,582 円	その他	16,657,140 円
	増減率	△4.64%	一般財源	177,139,840 円		

#### <目的>

環境に配慮しながら市本庁舎を適切に管理することにより、職員の職務遂行能力を向上させるとともに、利用者が快適な環境で市本庁舎を利用できるようにします。管理する普通財産の貸付や売払いを計画的に行います。

#### <内容>

法令の遵守（健康増進法、消防関係法令、労働安全衛生関係法令）、市本庁舎の電気、ガス、水道使用量の削減、ごみ排出量の削減、防災、防火対策（自衛消防組織による訓練実施など）等により、市本庁舎を適切に管理します。管理する普通財産の除草、剪定等業務を適時実施し良好な管理に努めながら、貸付や売り払いを計画的に行います。

#### <実績・成果等>

- 1 市本庁舎の良好な維持管理を図るため、警備、清掃及び設備運転・保守管理業務を年間委託するとともに、総合案内業務により、市民が目的とする窓口に迅速に案内できるよう、市民サービスの向上を図りました。
- 2 特定規模電気事業者（PPS）と契約し、電気料金の節減を図りました。
- 3 市有地の各所で除草、剪定等業務を適時実施し、良好な管理に努めました。



## 2 款 1 項 5 目 財産管理費

### 庁用車管理事業

(財産管理課)

決算事項別明細書 83 ページ

予算現額	12,811,000 円		決算額	11,508,199 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,302,801 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			11,851,515 円	地 方 債	
	増減額			△343,316 円	そ の 他	
	増減率		△2.90%	一 般 財 源	11,508,199 円	

#### <目的>

公用車の集中管理により、車両を常に良好な状態で管理し、安全な運行を図ります。また、車両を効率的に使用することにより、経費の節減及び温室効果ガスの低減を図ります。

#### <内容>

- 1 集中管理方式による効率的な車両管理を行います。
- 2 低公害車、低燃費車など環境に配慮した車両を導入します。
- 3 定期的な運転者への講習の開催などを通じて、交通安全意識の醸成を図ります。

#### <実績・成果等>

- 1 集中管理車両 48 台により、効率的な車両管理を行いました。
- 2 老朽化した車両を廃車しました。
  - (1) 廃車車両台数 2 台 (内訳 バイク 2 台)
- 3 交通安全意識の醸成を図るため、狭山警察署交通課署員を講師に招き、参加職員 68 人を対象とした交通法規講習会を実施しました。

## 2 款 1 項 5 目 財産管理費

### 市庁舎設備等改修事業

(財産管理課)

決算事項別明細書 85 ページ

予算現額	61,280,000 円		決算額	58,968,000 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,312,000 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額	2,052,000 円		決算額の 財源内訳	地 方 債	43,600,000 円
	増減額	56,916,000 円			そ の 他	12,000,000 円
	増減率	2,773.68%	一 般 財 源		3,368,000 円	

#### <目的>

築後 32 年が経過した市本庁舎の建築設備等の計画的な改修工事を実施することで、適正で快適な環境を整えます。

#### <内容>

経年の劣化による市本庁舎の建築設備等を計画的に改修し、適正な本庁舎の維持管理を行います。

#### <実績・成果等>

- 1 市本庁舎個別空調設備（6 台）の改修工事設計委託を実施しました。  
本庁舎個別空調設備改修工事設計委託 756,000 円
- 2 市本庁舎エレベーター改修工事を実施しました。  
狭山市庁舎エレベーター改修工事（高層棟 1 号基・低層棟 4 号基） 58,212,000 円

## 2 款 1 項 6 目 企 画 費

### 政策企画調整事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 85 ページ

予 算 現 額	1,841,000 円		決 算 額	1,551,401 円		
翌 年 度 繰 越 額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国 庫 支 出 金		
不 用 額	289,599 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			1,436,770 円	地 方 債	
	増減額			114,631 円	そ の 他	
	増減率	7.98%	一 般 財 源	1,551,401 円		

#### <目的>

長期的なまちづくりの方針、将来像、その実現の手段、プロセスを総合的、体系的に示し、市政運営の根幹となる狭山市総合計画の管理、運営を図ります。

#### <内容>

全庁的な課題の調整及び企画を行います。また、第4次狭山市総合計画前期基本計画に掲げられた施策の計画的かつ効果的な推進を図ります。

#### <実績・成果等>

1 第4次狭山市総合計画実施計画の作成に係る総合調整を行いました。

- (1) 狭山市総合計画策定委員会の開催  
平成30年8月22日(水)、9月26日(水)、平成31年1月10日(木)
- (2) 狭山市総合計画審議会の開催  
平成31年2月12日(火)

2 「夢をかなえるプロジェクト」

子どもたちの健全な成長を支援するとともに、郷土愛の醸成を図る事業として、「夢をかなえるプロジェクト」を実施しました。

平成30年度は、狭山市立入間川東小学校 PTA から提案のあった企画を採用し、「狭山市駅前イルミネーション」において、児童が自らの夢をテーマに考案、制作したイルミネーションを展示するとともに、イルミネーションの点灯式でマーチングバンドのメンバーが演奏を披露しました。

企画名称 オリジナルイルミネーションを作り、みんなに見てもらいたい！

実施日 (1)イルミネーション点灯式  
平成30年12月1日(土)  
(2)イルミネーション展示期間  
平成30年12月1日(土)から平成31年1月14日(月・祝)

展示場所 狭山市駅西口市民広場

参加対象 狭山市立入間川東小学校 第1学年から第6学年の児童(希望者のみ)

実施内容 (1)オリジナルペットボトルイルミネーションの制作、展示  
(2)児童の夢をテーマにしたオリジナルデザインボードの制作、展示  
(3)イルミネーション点灯式でのマーチングバンドの演奏披露

## 2款 1項 6目 企画費

### 魅力づくり事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 85 ページ

予算現額	171,000 円		決算額	30,000 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	141,000 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	178,263 円	一 般 財 源	地 方 債	
	増減額	△148,263 円		そ の 他	
	増減率	△83.17%			30,000 円

#### <目的>

市内 4 大学（西武文理大学、東京家政大学、武蔵野学院大学、武蔵野短期大学）と締結した包括的連携協定に基づき、広く「まちづくり」の分野において、大学が持つ資源を有効に活かし、協働を推進することで、活力ある魅力的な地域社会の形成・発展につなげます。

#### <内容>

市内に若い世代を呼び込むために、市内の魅力若者目線で発信するとともに、若い世代に対して、市の知名度向上につながるイベントを実施します。

#### <実績・成果等>

- 1 西武文理大学の学生と、学生が選んだ映画を通じて狭山の文化を発信するイベント「サヤマ de シネマ」を実施しました。

事業名称 サヤマ de シネマ  
 実施日 平成 30 年 9 月 22 日（土）、23 日（日）  
 開催場所 狭山市市民会館小ホール  
 実施内容 東京国際映画祭で上映された作品の中から、学生が選んだ 4 作品を上映

- 2 東京家政大学の学生と、東日本大震災の復興支援イベント「第 8 回イナリヤマフェスタ」に参加し、防災についての知識を楽しく学べる「防災カフェ」を実施しました。

事業名称 東京家政大学「防災カフェ」  
 実施日 平成 30 年 10 月 7 日（日）  
 開催場所 狭山稲荷山公園  
 実施内容 東京家政大学オリジナル「防災カルタ」体験会、避難生活時の効果的な運動方法についてのワークショップ、被災地への義援金の寄附のためのチャリティー販売

- 3 武蔵野学院大学と武蔵野短期大学の学生と、ふるさと納税を活用した「入間航空祭パーク&ライド」を実施しました。

事業名称 入間航空祭パーク&ライド  
 実施日 平成 30 年 11 月 3 日（土・祝）  
 申込件数 13 件（当日参加者数 11 組 40 名）  
 実施内容 大学の特設駐車場から、入間航空祭入場門に隣接する稲荷山環境センターまで、大型バスによる送迎、学生による湯茶接待によるおもてなし

- 4 市内 4 大学の学生の能力向上を目的とした講演会を実施しました。

事業名称 大学生スキル UP 講演会  
 実施日 平成 30 年 7 月 10 日（火）  
 講師 伊藤 能孝 氏（サンルートプラザ東京 宴会サービス部長）  
 講演内容 ホテルにおけるおもてなしの観点から、社会人として必要な心構えやスキルを学ぶ

## 2款 1項 6目 企画費

### 行財政改革推進事業

(行政経営課)

決算事項別明細書 85 ページ

予算現額	2,980,000 円		決算額	2,813,743 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	166,257 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			3,777,593 円	地 方 債	
	増減額			△963,850 円	そ の 他	
	増減率	△25.51%	一 般 財 源	2,813,743 円		

#### <目的>

少子・超高齢化と人口減少社会の進展や、地方分権による権限委譲が図られる中で、益々多様化する行政課題や市民ニーズに対応し、安全で良質な行政サービスを確実に市民に提供していくために、引き続き行財政改革に取り組み、効率的かつ効果的で、財政的にも健全な行財政運営を推進することを目的とします。

#### <内容>

行政資源に限られる中で、市民一人ひとりが満足できるような質の高い行政サービスを提供し続けていくため、経営感覚を意識したコストと成果重視の絶え間ない行財政改革を推進します。

#### <実績・成果等>

##### 1 行財政改革推進委員会の開催

行財政改革指針に基づく取組みの実施状況及び狭山市定員管理指針の一部改正について報告し、課題等についての意見を聴取しました。

また、SWOT分析の手法を活用した新たな行政評価の実施結果を報告し、今後の行政評価のあり方等を踏まえた意見交換が行われ、委員会から「狭山市の行政評価に関する提言」が提出されました。

(1) 行財政改革推進委員会委員報酬 309,600 円 (日額 7,200 円)

(2) 委員会開催回数 5回

##### 2 情報アドバイザーの委嘱

情報化に関する専門的な識見を活用して、電子自治体の構築に向けた取組みの充実を図るために、情報アドバイザーを委嘱し、行政情報システムの最適化を進めるとともに、地域情報化の推進、システム調達コストの縮減、ICTを活用した危機管理体制の構築等に関して、必要な助言等を受けました。

情報アドバイザー謝礼金 2,400,000 円 (日額 50,000 円 × 48 日)

##### 3 職員提案の募集

市民サービスの向上や効率的かつ効果的な行財政運営に向けて、市政に関する施策の企画立案や事務事業の改善等について、広く職員からの提案を求めました。

##### (1) 平成 30 年度 提案件数等

提案区分	提案件数	審査結果		
職務改善提案	12 件	銀賞 3 件	銅賞 5 件	奨励賞 3 件
自由提案	28 件	銀賞 3 件	銅賞 5 件	奨励賞 11 件

##### (2) 職員提案ほう賞 60,000 円

(内訳) 銀賞 5,000 円分図書カード × 6 件 = 30,000 円

銅賞 3,000 円分図書カード × 10 件 = 30,000 円 ※ ほう賞は銅賞以上

## 2款 1項 6目 企画費

### 平和意識高揚事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 85 ページ

予算現額	242,000 円		決算額	207,227 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	34,773 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			186,864 円	地方債	
	増減額			20,363 円	その他	
	増減率	10.90%	一般財源	207,227 円		

#### <目的>

講演会や啓発活動を通じて、市民の平和に対する意識の高揚を図ります。

#### <内容>

市内の小中学生を対象に、戦争体験者による講演会などを実施し、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるとともに、平和に関する教育や啓発活動を推進します。

#### <実績・成果等>

- 1 市内公立小中学校で、戦争体験者の語り部による「平和を願う講演会」を開催しました。  
(開催実績 23校)

実施日程	実施校	対象学年
5月12日(土)	水富小学校	第6学年
6月9日(土)	狭山台小学校	第6学年
	堀兼中学校	第2学年
6月28日(木)	狭山台中学校	全学年
7月12日(木)	入間川中学校	第2学年
7月14日(土)	入間川東小学校	第6学年
	柏原中学校	第2学年
9月8日(土)	富士見小学校	第6学年
	御狩場小学校	第6学年
10月13日(土)	入間川小学校	第6学年
10月18日(木)	入間野中学校	第1学年
10月30日(火)	堀兼小学校	第5、6学年
11月2日(金)	広瀬小学校	第3学年
11月6日(火)	奥富小学校	第6学年
11月10日(土)	中央中学校	全学年
11月22日(木)	山王中学校	第2学年
12月8日(土)	山王小学校	第6学年
	新狭山小学校	第6学年
1月12日(土)	南小学校	第6学年
	柏原小学校	第6学年
2月7日(木)	笹井小学校	第6学年
2月9日(土)	入間野小学校	第6学年
3月9日(土)	西中学校	第3学年

- 2 本庁舎入り口に当市が平和宣言都市であることを周知する懸垂幕を掲揚しました。

掲揚期間 8月1日(水)から8月31日(金)

## 2款 1項 6目 企画費

### 埼玉県西部地域まちづくり計画（ダイアプラン）推進事業

（政策企画課）

決算事項別明細書 85 ページ

予算現額	417,000 円		決算額	413,990 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	3,010 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			408,412 円	地 方 債	
	増減額			5,578 円	そ の 他	
	増減率	1.37%	一 般 財 源	413,990 円		

#### <目的>

埼玉県西部地域まちづくり協議会の構成市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市）に共通する行政課題の解決に向けて広域行政を推進し、圏域市民間の交流の促進を図り、豊かで魅力あふれる都市圏の創造を目指します。

#### <内容>

構成市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市）が連携して、共通する行政課題の解決や公共施設の相互利用などに取り組むとともに、イベントなどの開催により市民交流の促進し、豊かで魅力あふれる都市圏の創造に向けて計画を推進します。

#### <実績・成果等>

1 構成市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市）の公の施設の相互利用を実施し、効率的かつ効果的な市民サービスを提供しました。

##### (1)文化・福祉施設（図書館を除く）

構成市（狭山市を除く）の施設を利用した狭山市民の数 延べ 29,851 人  
狭山市の施設を利用した構成市（狭山市を除く）市民の数 延べ 197,915 人

##### (2)体育・公園施設

構成市（狭山市を除く）の施設を利用した狭山市民の数 延べ 31,510 人  
狭山市の施設を利用した構成市（狭山市を除く）市民の数 延べ 107,053 人

##### (3)図書館

構成市（狭山市を除く）の施設を利用した狭山市民の数 延べ 22,853 人  
狭山市の施設を利用した構成市（狭山市を除く）市民の数 延べ 18,337 人

2 構成市に共通する行政課題を検討する専門部会（清掃部会、図書館部会、地域情報化部会、男女共同参画部会、広域行政研究部会、環境部会、観光部会、公共交通部会）を開催しました。

3 平成 31 年 2 月 2 日（土）に、協議会設立 30 周年記念式典及び講演会を実施しました。

実施日 平成 31 年 2 月 2 日（土）

会 場 所沢まちづくりセンター 2階 ホール

来場者数 220 人

実施内容 〔第 1 部〕 記念式典

〔第 2 部〕 記念講演会

講 師：清水 国明 氏（タレント、所沢市教育委員）

テーマ：「自然と寄り添う暮らし」

4 平成 31 年 4 月 1 日付で埼玉県西部地域まちづくり協議会に日高市が加入するために必要となる各種事務手続きを進めた結果、平成 31 年 2 月 2 日（土）に開催された協議会臨時総会において可決承認されました。

## 2款 1項 6目 企画費

### 公共建築物等再編統合事業

(行政経営課)

決算事項別明細書 85 ページ

予算現額	11,916,000 円		決算額	7,941,231 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	3,974,769 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			5,971,598 円	地 方 債	
	増減額			1,969,633 円	そ の 他	
	増減率		32.98%	一 般 財 源	7,941,231 円	

#### <目的>

今後、人口減少等により公共施設等の利用需要の変化が予想されることを踏まえ、公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現します。

#### <内容>

公共施設の再編を計画的に行うため、「狭山市公共施設等総合管理計画」の計画期間 40 年を概ね 10 年毎に 4 期に分け、公共施設マネジメントを実施する具体的な計画として策定した「狭山市公共施設再編計画」に基づき、公共施設の再編と保全の統括マネジメントを推進します。

#### <実績・成果等>

公共施設等の改修・建替え・統廃合などを長期的な視点に立って計画的に行い、財政負担を軽減・平準化するとともに、将来のまちづくりを見据えて公共施設等の適正な配置を図るため、「狭山市公共施設等総合管理計画」を平成28年度に策定し、その具体的な行動計画として10年間を計画期間とする「狭山市公共施設再編計画」を平成30年4月に策定しました。計画を進めるにあたり、職員の意識向上を醸成することを目的として、外部講師による研修を開催しました。公共施設マネジメント推進支援委託では、奥富地区の公共施設の再編をテーマにワークショップを実施、公共建築物点検マニュアル（案）の作成、公共施設維持管理業務の民間包括委託の調査検討を行い、入間中学校跡地有効活用調査委託では、跡地について市場性調査を実施し、事業スキームの調査検討を行いました。

1 臨時職員賃金 852,637円

2 講師謝礼金（公共施設マネジメント職員研修の講師謝礼金）100,000円

3 公共施設マネジメント推進支援委託料 1,998,000 円

4 公共施設跡地有効活用調査委託料 4,974,480 円  
 （入間中学校跡地利活用調査業務委託 3,678,480 円）  
 （東中学校跡地利活用調査業務委託 1,296,000 円）



## 2 款 1 項 6 目 企 画 費

### 親元同居・近居支援事業費（総合戦略事業）

（政策企画課）

決算事項別明細書 87 ページ

予算現額	28,000,000 円		決算額	23,756,000 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	4,244,000 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			13,500,000 円	地 方 債	
	増減額			10,256,000 円	そ の 他	
	増減率		75.97%	一 般 財 源	23,756,000 円	

#### <目的>

若い世代の移住・定住を促進し、併せて子育て・介護等の共助を推進します。

#### <内容>

市内に居住する親世帯と同居、若しくは近居するために市内に住居を新築・取得又は増改築して居住する子世帯に対し、掛かる費用の一部を補助します。また、18歳未満の子を3人以上養育する世帯と、住宅の新築取得又は増改築に当たり市内事業者を利用した世帯には、それぞれ補助金を上乗せします。

#### <実績・成果等>

補助金交付件数は53件で、これに伴う転入者は179人であり、内訳は近隣市からの転入が29件(55%)、県内他市町村からの転入が6件(11%)、県外からの転入が18件(34%)でした。

交付決定	53 件	
内訳	購入	6
	新築	43
	増改築	4
	同居	12
	近居	41
加算要件	市内業者	23
	18歳未満の子3人以上養育	8
補助金交付決定額	23,756 千円	

転入者数(世帯数/世帯員数)	53 世帯	179 人
川越市	4	11
所沢市	21	68
飯能市	0	0
入間市	3	14
日高市	1	4
埼玉県内他市町村	6	23
県外	18	59

## 2款 1項 6目 企画費

### 婚活支援事業費（総合戦略事業）

（政策企画課）

決算事項別明細書 87 ページ

予算現額	538,000 円		決算額	454,000 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	84,000 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			422,330 円	地 方 債	
	増減額			31,670 円	そ の 他	
	増減率	7.50%	一 般 財 源	454,000 円		

#### <目的>

若い世代の婚活を支援することで、市内への就労や移住、定住のきっかけをつくるとともに、年少人口の減少を抑制します。

#### <内容>

若い世代の結婚の希望をかなえるとともに、市の特色を織り込み、魅力を発信することで、市内への移住・定住のきっかけにつながる施策に取り組みます。

#### <実績・成果等>

12月16日（日）に、狭山茶を使用したスイーツを作る体験型の婚活イベントを実施しました。

事業名称 “料理で恋する” さやまコン  
 実施日 平成30年12月16日（日）  
 開催場所 市内レストラン  
 参加者数 31人（男性：16人、女性：15人）  
 実施内容 〔第1部〕ライフデザインセミナー  
 〔第2部〕婚活パーティー  
 結 果 カップル成立5組（カップリング率：32%）

## 2 款 1 項 6 目 企 画 費

### 総合戦略推進事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 87 ページ

予 算 現 額	2,918,000 円		決 算 額	2,311,892 円		
翌 年 度 繰 越 額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国 庫 支 出 金		
不 用 額	606,108 円			県 支 出 金	1,000,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			256,434 円	地 方 債	
	増減額			2,055,458 円	そ の 他	
	増減率	801.55%	一 般 財 源	1,311,892 円		

#### <目的>

狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた5つの基本目標(安定した雇用を創出する、新しいひとの流れをつくる、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守る、元気な健康高齢社会をつくる)の実現を目指します。

#### <内容>

狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた基本目標を実現するため、各種施策を計画的かつ効果的に推進するほか、喫緊の政策課題に全庁的な調整及び企画のもと対処します。

#### <実績・成果等>

1 狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理と意見聴取を行いました。

(1) 狭山市まち・ひと・しごと創生推進本部会議の開催  
平成31年3月27日(水)

(2) 狭山市まち・ひと・しごと創生有識者会議の開催  
平成31年1月17日(木)

2 行政提案型協働事業として、子育て中の市民とともに、当市の子育て環境の良さをPRするリーフレットを作成しました。さらに、子育て環境の良さをPRするWEBサイトを作成し公開するとともに、不動産・住宅情報サイトにおいて、当市の物件を検索した方をターゲットとしたWEB広告を5週間に渡り実施しました。

(1) リーフレット「つながる×こそだて×さやま」

仕 様 A5判12ページ

印刷部数 15,000部

内 容 子育て環境の良さをPRする冊子であり、子育て中の親子が狭山市で楽しく過ごすための場所やイベント等の情報を紹介するもの

配 付 先 市内各公共施設、保育所、幼稚園、小学校、病院、金融機関、市外遊園地など

(2) PRサイト「体験で育つ街狭山市」

内 容 子育て世代に狭山市の魅力を紹介するWEBサイトであり、市内工場の見学体験レポート等を紹介し、ものづくりの街狭山市は、子どもたちが豊かな体験を重ねながら成長できる市であることをPRするもの

掲載期間 不動産・住宅情報サイトにおける広告掲載期間 5週間(閲覧件数4,025件)  
公式ホームページにも掲載

## 2款 1項 6目 企画費

### 東京オリンピック・パラリンピック推進事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 87 ページ

予算現額	8,177,000 円		決算額	7,972,640 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	204,360 円			県 支 出 金	3,500,000 円
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額	7,972,640 円		そ の 他	
	増減率	皆増		一 般 財 源	4,472,640 円

#### <目的>

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、機運醸成や大会への市民参画を推進する取組を進め、開催会場である狭山市におけるレガシーを創出します。

#### <内容>

機運醸成及び市民参画として、オリンピックやパラリンピアンによる講演会の開催や競技体験等を実施するほか、小中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の機会を提供します。

#### <実績・成果等>

1 大会開催2年前を契機としたイベントを実施しました。

(1)東京2020オリンピックに向けた2年前イベント in 狭山市

実施日 平成30年8月5日(日)

開催場所 狭山市市民交流センター コミュニティホール

来場者数 500人以上

ゲスト 朝長 なつ美 氏(近代五種リオデジャネイロオリンピック出場・狭山市出身)  
甲斐 慎太郎 氏(プロゴルファー・狭山市在住)

実施内容 カウントダウンカレンダー披露、ゲストらによるトークセッション、競技体験、東京五輪音頭-2020-を参加者で踊る

(2)狭山市主催パラリンピアン講演会

実施日 平成30年9月16日(日)

開催場所 狭山市市民交流センター コミュニティホール

来場者数 69人以上

ゲスト 堀江 航 氏(パラアイスホッケー平昌パラリンピック出場)

実施内容 講演《テーマ》強く楽しく逞しく～目標を持って生きる～、車いす体験

2 小中学校においてアスリートによるオリンピック、パラリンピック特別授業を実施しました。

(1)JOC オリンピック教室(オリンピック出場アスリートによる座学と運動から成る特別授業)

実施校 入間川中学校、入間野中学校、狭山台中学校 (全3校)

(2)あすチャレ!スクール(パラリンピック出場アスリートによる競技体験を主体とした特別授業)

実施校 入間川東小学校、富士見小学校、南小学校、山王小学校、堀兼小学校、狭山台小学校、新狭山小学校、柏原小学校、堀兼中学校 (全9校)

3 オリンピック大会ゴルフ競技の観客輸送想定駅である狭山市駅周辺に無料公衆無線 LAN 環境を整備し、平成31年1月1日(火・祝)から運用を開始しました。

運用エリア 狭山市駅西口ロータリー、狭山市駅西口市民広場、狭山市市民交流センター館内、狭山市駅東口ロータリー

## 2款 1項 8目 人権推進費

### 人権施策推進事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 89 ページ

予算現額	2,959,000 円		決算額	2,585,835 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	373,165 円			県 支 出 金	346,000 円
前 年 度 比 較	決算額			2,391,382 円	地 方 債
	増減額	194,453 円	そ の 他		
	増減率	8.13%	一 般 財 源	2,239,835 円	

#### <目的>

様々な機会を通じて同和問題をはじめとした人権問題に対する理解を促進し、人権意識の高揚を図るとともに、人権尊重に対する理解を深めます。併せて、人権尊重の意識が定着するよう啓発活動を推進し、人権を尊重しながら共に生きる社会の実現を目指します。

#### <内容>

同和問題をはじめとして、女性、性的少数者、子ども、高齢者、障害者、外国人などに関わる多様な人権問題に対する意識の高揚を図るため、様々な機会を通じて啓発活動を推進します。

また、学校教育、社会教育、企業、行政などのあらゆる場において、人権教育を推進します。

#### <実績・成果等>

- 1 差別や偏見のない心の通じ合う明るい社会を実現するため、同和問題をはじめとする人権問題の正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図ることを目的とし、教育委員会との共催により、人権問題講演会を開催しました。

実施日 平成 31 年 1 月 22 日 (火)  
 講師 蓮池 薫 氏  
 講演内容 夢と絆を求めて～翻弄された運命のなかで～  
 参加者 352 人

- 2 当市を含む13市町で構成する入間郡市同和対策協議会では、人権が尊重され、誰もが自分らしくいきいきと暮らせる社会を実現するため、一人ひとりが日常生活における様々な問題を人権の視点で見つめお互いを尊重し合えるよう、広く地域住民を対象に、第16回入間郡市人権フェスティバルをふじみ野市立勤労福祉センターで開催しました。

実施日 平成 30 年 11 月 20 日 (火)  
 講師 大場 久美子 氏  
 講演内容 パニック症 10 年間の闘病から克服まで  
 参加者 560 人

- 3 啓発用品を作成し、狭山市人権問題講演会をはじめ啓発関連事業の際に受講者に配布するとともに、人権問題啓発DVDを購入し、利用の促進を図り、市民に対する人権意識の普及高揚に努めました。
- 4 人権啓発事業の一環として、人権パネル展を開催しました。

平成 30 年 6 月 13 日 (水) から 6 月 27 日 (水) 堀兼公民館 入場者数：延べ 1,200 人  
 平成 30 年 11 月 20 日 (水) から 11 月 30 日 (水) 新狭山公民館 入場者数：延べ 843 人

## 2 款 1 項 9 目 基地対策費

### 基地関連要望活動事業

(基地対策課)

決算事項別明細書 91 ページ

予算現額	10,000 円		決算額	0 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	10,000 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			0 円	地 方 債	
	増減額			0 円	そ の 他	
	増減率	0.00%	一 般 財 源			

#### <目的>

防衛省等の関係機関は、入間基地に関わる地域の声を聴く機会が限られていることから、要望活動等を通じて地域の実情等への理解を促し、障害の解消・改善を図ります。

#### <内容>

防衛省や入間基地に対して、周辺住民の生活環境の改善を求める要望書を提出します。また、航空機騒音等で日常、市民から寄せられる意見や要望を迅速に基地に伝え、障害の解消・改善を求めます。

#### <実績・成果等>

全国組織である全国基地協議会及び防衛施設周辺整備全国協議会並びに基地関連の県組織である埼玉県基地対策協議会、更には入間基地周辺の市民で組織した狭山市基地対策協議会等において、政府関係機関に要望活動を実施しました。

#### <<本年度要望活動実績>>

年月日	要望事項	要望主体	要望先
平成 30 年 5 月 10 日	米空軍 CV-22 オスプレイの横田飛行場への配備に関する事項	埼玉県基地対策協議会	防衛大臣 北関東防衛局
平成 30 年 7 月 3 日	オスプレイの所沢通信施設への離着陸に関する事項	埼玉県基地対策協議会	防衛大臣 北関東防衛局
平成 30 年 7 月 12 日	基地対策に関する事項	埼玉県基地対策協議会	防衛省 北関東防衛局他
平成 30 年 7 月 18 日	基地交付金に関する事項	全国基地協議会	防衛省、総務省、財務省他
	防衛施設周辺整備対策に関する事項	防衛施設周辺整備全国協議会	防衛省、総務省、財務省他
平成 30 年 10 月 17 日	入間航空祭における航空機の安全飛行に関する事項	狭山市 埼玉県基地対策協議会	航空自衛隊入間基地
平成 30 年 10 月 26 日	航空自衛隊入間基地に関わる周辺住民の生活環境の改善に関する事項	狭山市基地対策協議会	北関東防衛局 航空自衛隊入間基地
平成 30 年 12 月 12 日	基地跡地等の適切な管理に関する事項	埼玉県基地対策協議会	関東財務局 北関東防衛局
平成 30 年 12 月 13 日	狭山市内に所在するジョンソン基地跡地保留地の調査に関する事項	狭山市	関東財務局
平成 31 年 2 月 6 日	公式行事の際における飛行訓練に関する事項	狭山市、狭山市議会、 狭山市議会基地対策特別委員会	航空自衛隊入間基地

#### <<参考 狭山市議会・狭山市議会基地対策特別委員会の要望活動実績>>

平成 30 年 8 月 3 日	航空自衛隊入間基地に関わる市民の生活環境の改善に関する事項	狭山市議会 狭山市議会基地対策特別委員会	北関東防衛局 航空自衛隊入間基地
平成 30 年 10 月 19 日	入間航空祭における航空機の安全飛行に関する事項	狭山市議会 狭山市議会基地対策特別委員会	航空自衛隊入間基地

## 2 款 1 項 9 目 基地対策費

### 基地関連障害対策事業

(基地対策課)

決算事項別明細書 91 ページ

予算現額	36,992,000 円		決算額	35,755,578 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	26,458,000 円
不用額	1,236,422 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	8,244,580 円	一般財源	地方債	
	増減額	27,510,998 円		その他	
	増減率	333.69%			9,297,578 円

#### <目的>

入間基地に関わる様々な問題等の解決に向け、防衛省等の関係機関との調整を図り、障害の防止、軽減を図るための事業を実施することで、基地周辺の住民の生活環境の向上を目指します。

#### <内容>

基地周辺の住民の生活環境の向上や地域活動の安定を図るため、防衛省との調整・交渉を行うとともに、事業所管部における公共施設の防音及び冷暖房工事、道路改修、公園整備等が計画的に実施できるよう支援します。

また、共同受信施設の老朽化に伴い、防衛補助を活用した更新事業として計画的に設計・工事を行います。

#### <実績・成果等>

##### 1 防衛省補助事業等

###### (1) 障害防止事業関係

防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律(環境整備法)第3条第2項の補助事業として、86,414,000 円の補助金を受け、柏原小学校防音補助事業を実施し、騒音対策を推進しました。

###### (2) 民生安定事業関係

環境整備法第8条の補助事業として、76,621,000 円の補助金を受け、無線放送施設設置助成事業、入間飛行場周辺コミュニティ併用施設設置助成事業を実施しました。

###### (3) 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業関係

環境整備法第9条の交付金事業として、132,058,000 円の交付金を受け、共同受信施設改修事業、防災備蓄倉庫購入事業、消防ポンプ自動車購入事業、畑地かんがい防除施設改修事業、市道 A 第 141 号線外 3 線改良舗装事業、市道幹第 57 号線改良舗装事業、道路維持作業車購入事業、智光山公園施設改修事業及び柏原地区公園整備事業を実施するとともに、予防接種助成事業については基金への積立を行いました。

###### (4) 防音事業関連維持事業関係

環境整備法第3条第2項等の補助事業により整備した施設のうち小中学校及び保育所の合計 8 施設について、電気料金等 4,856,237 円に対し、2,878,000 円の補助金を受けました。

##### 2 基地関連障害対策事業

###### (1) 電波障害対策として整備した共同受信施設の中で、鋼管柱 94 本を撤去し、付随するケーブルを更新しました。

共同受信施設諸工事費 30,769,200 円 (国庫支出金 26,458,000 円)

共同受信施設更新設計積算業務委託料 84,996 円

共同受信施設更新工事監理業務委託料 3,983,877 円

###### (2) 住民からの依頼及び緊急を要する共同受信施設の鋼管柱等撤去工事を 6 件実施しました。

共同受信施設諸工事費 917,505 円

## 2 款 1 項 1 0 目 電算管理費

### 情報システム管理事業

(情報政策課)

決算事項別明細書 91 ページ

予算現額	308,418,000 円		決算額	301,085,551 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不用額	7,332,449 円			県支出金		
前年度 比較	決算額	307,039,536 円		決算額の 財源内訳	地方債	
	増減額	△5,953,985 円			その他	
	増減率	△1.94%	一般財源		301,085,551 円	

#### <目的>

行政情報システムの安定的な運用を図り、システム、機器及びデータ等の管理を行います。

#### <内容>

総合窓口対応システムやパソコン等及びネットワークの管理を行います。また、行政情報システムの運用保守を行い、業務の安定的な運用を図ります。

#### <実績・成果等>

- 1 システム維持管理  
個人番号事務系、LGWAN 系、インターネット系の各ネットワーク、公共施設予約システム等でのシステムトラブル対応やサーバーの稼働状況の解析を行いました。
- 2 機器維持管理  
パソコン、プリンター、サーバー等の維持管理を行いました。
- 3 電子申請システム管理  
電子自治体構築に向けて、平成 18 年 11 月から埼玉県市町村電子申請共同運営協議会に参加し、電子申請サービスを行っています。
- 4 セキュリティ対応  
情報セキュリティ技術や個人情報の取り扱いに関する知識を取得することを目的として、延べ 75 人の職員が地方公共団体情報システム機構主催の e ラーニングによる情報セキュリティ、個人番号制度に係る情報連携に向けた研修を受講しました。
- 5 総合窓口対応システム維持管理  
総合窓口対応システムの維持管理を行いました。
- 6 社会保障・税番号制度対応  
社会保障・税番号制度に係るシステム改修を行いました。



## 2款 1項10目 電算管理費

### 情報化推進事業

(情報政策課)

決算事項別明細書 91 ページ

予算現額	879,000 円		決算額	836,357 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	42,643 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			5,230,511 円	地 方 債	
	増減額			△4,394,154 円	そ の 他	
	増減率	△84.01%	一 般 財 源	836,357 円		

#### <目的>

第2次狭山市情報化基本計画に基づいて、行政情報システムの全体最適化、地域情報化の推進、ICTガバナンスの強化に取り組み、電子自治体の構築を進め、市民サービスの向上を図ります。

#### <内容>

行政情報システムの全体最適化、職員認証基盤などの内部情報システムの構築及びネットワークの再構築や個人情報データなどの管理強化を図ります。また、公共施設予約や行政手続きの電子申請などのサービスを推進し、電子自治体の構築を進め市民サービスの向上を図ります。

#### <実績・成果等>

##### 1 情報化推進要員の育成

情報化推進要員の育成を計画的かつ効果的に行うため、各種研修会に参加しスキルアップを図りました。

#### ※研修概要

研修タイトル	情報セキュリティ対策研修、LAN/WAN の構築実習・実践トレーニング、WindowsServer2016 の基礎 ほか
--------	--